

(様式第1号)

平成30年7月27日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：生活支援・介護過程に関する領域

科目名：個別支援計画作成と記録の演習

単位数：2単位

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人三重県介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒514-0003

三重県津市桜橋2-131 三重県社会福祉会館2階

電話：059-264-7741

FAX：059-264-7742

E-mail：mie\_kaifuku@ybb.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：(一社) 三重県介護福祉士会

申請責任者：大田 京子



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 \_\_\_\_\_

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年7月27日
申請団体名	一般社団法人 三重県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 大田 京子
申請責任者職名	認定介護福祉士養成研修担当
申請責任者氏名	森 聖志
団体住所	〒514-0003 三重県津市桜橋 2-131
同 Tel・Fax	Tel : (059)-(264)-(7741)
メールアドレス	Fax : (059)-(264)-(7742) E-mail:mie_kaifuku@ybb.ne.jp
申請対象の領域	領域名 : 生活支援・介護過程に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 個別支援計画作成と記録の演習 (2単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ( )
	年 認証番号 ( )
	年 認証番号 ( )
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	生活支援・介護過程に関する領域	
科目名	個別支援計画作成と記録の演習	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状態に即した個別支援計画を作成・評価することができる力を育成する</li> <li>・個別支援計画を実施する際の記録様式の作成、記録方法を評価し、新しく開発する力量を形成するとともに指導できる力を育成する</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・リハビリ・認知症など、これまでに学習した知識をふまえたうえでアセスメントを行い、課題を明確化し、個別支援計画を評価することができる</li> <li>・利用者の全人的理解や他専門職からの情報を統合し、個別支援計画を作成することができる</li> <li>・作成した個別支援計画に沿った記録様式の作成と記録方法を評価し、他職員に指導できる</li> <li>・チームにおいて個別支援計画作成の指導ができる</li> </ul>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例に沿った医学的知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導</li> <li>○作成した個別支援計画の評価、修正</li> <li>○個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の習得</li> <li>○記録方法の指導</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>事例理解に必要な基礎的知識と実践的（経験的）知識（講義4時間） <ol style="list-style-type: none"> <li>事例理解に必要な医療、リハビリ、認知症等の基礎的知識</li> <li>生活支援・介護過程経験で育まれる実践的（経験的知識）</li> </ol> </li> <li>生活支援・介護過程を支える個別支援計画の意義（講義4時間） <ol style="list-style-type: none"> <li>生活支援における課題抽出</li> <li>介護過程における目的設定</li> <li>ケアの共有化と介護観</li> </ol> </li> <li>個別支援計画作成に関わる指導の視点（講義・演習4時間） <ol style="list-style-type: none"> <li>事例を活用したICFアセスメントと指導視点</li> </ol> </li> <li>個別支援計画の評価と修正（演習8時間） <ol style="list-style-type: none"> <li>認知症事例による「観察した内容」と「個別支援計画」の実際（参考となるエピソード：ケースメソッド）</li> <li>個別支援計画の評価と修正</li> </ol> </li> </ol>

	<p>5. 個別支援計画に沿った記録様式の作成（講義・演習6時間）</p> <p>① エピソード記録の方法と活用</p> <p>② SOAP記録の方法と活用</p> <p>6. 記録方法の指導（習得に必要な関わり）（講義・演習4時間）</p> <p>① おさえるべき記録の基本原則</p> <p>② 個人情報とはなにか</p> <p>③ 指導における支持的機能の意味</p>
含むべきキーワード	記録の基本原則（数値で表すもの・数値記録等）、観察した内容（観察記録等）、参考となるエピソード（エピソード記録等、SOAP）・職員の行動記録・客観性の確保・アセスメント・ICF・課題抽出・目的設定・個人情報・支持的機能・介護観の統一・ケアの共有化
研修方法	<p>■集合研修</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</p> <p>○評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	30 時間
修了要件	<p>○原則として全課程の出席を要する。やむ得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める。30分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。</p> <p>○事後課題はA～Dの4段階評価とし、D評価の場合は再提出を求める。事後課題の提出が期限内に行われなかった場合、修了を認めない。</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある事</li> <li>・修士課程を修了している介護福祉士であることが望ましい</li> </ul>
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認定介護福祉士としての介護実践の視点」を修了していること</li> </ul>
修了評価	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</p> <p>修了評価は以下により行う。</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の</p>

	理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30名
開催場所（都道府県）	三重県社会福祉会館（三重県津市桜橋 2-131）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成31年3月4日(月)
	② 平成31年3月5日(火)
	③ 平成31年3月6日(水)
開催場所(会場)	①②③三重県社会福祉会館 2階 大会議室(三重県津市)
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 「個別支援計画作成と記録の演習」 ・保有資格 介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア学会認定認知症ケア専門士、社会福祉主事任用資格 介護教員講習会修了資格、介護技術講習会主任指導者資格、福祉経営学士、修士(社会福祉学)、博士(社会福祉学)
	1998年4月医療法人米津会介護老人保健施設職員、介護福祉士として介護業務担当 2000年12月同法人グループホームつるしろ職員、介護福祉士として介護業務担当 2001年6月同法人グループホームつるしろ施設長、同法人グループホームよねづ統括主任 任、管理者、介護支援専門員として運営管理業務担当 2005年4月学校法人日本福祉大学高浜専門学校介護福祉学科専任教員、同法人日本福祉大 中央福祉専門学校介護福祉士科兼任講師 2009年4月静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 助教 2009年4月学校法人日本福祉大学日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科非常勤講師(現在に至る) 2011年4月静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 講師 2017年4月静岡県公立大学法人静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 准教授(現在に至る)
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会(常勤:1名、非常勤:4名) 実行委員会事務局(担当事務局員、介護福祉士会事務兼務、常勤2名) 研修実行委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。

研修の企画運営に関する諸 規程	三重県介護福祉士会の定款、生涯研修委員会の諸規程に準 ずる。
研修管理責任者職名	
研修管理責任者氏名	会長 大田 京子
機構問合せ先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
機構問合せ先担当者氏名	森 聖志
機構問合せ先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
機構問合せ先 e-mail アドレス	<a href="mailto:mie_kaifuku@ybb.ne.jp">mie_kaifuku@ybb.ne.jp</a>
受講問合せ先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
受講問合せ先担当者氏名	森 聖志
受講問合せ先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
受講問合せ先 e-mail アドレス	<a href="mailto:mie_kaifuku@ybb.ne.jp">mie_kaifuku@ybb.ne.jp</a>
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	三重県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で 保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、 全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発 行する。
管理責任者氏名	大田京子（会長）
管理担当者氏名	稲木千泰（三重県介護福祉士会 事務局兼務）

## 別紙 1

## 認定介護福祉士養成研修時間割表

領域：生活支援・介護過程に関する領域

科目名：個別支援計画と記録の演習

(1日目) 平成31年3月4日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1・2	○事例に沿った医学的知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導	9:00~12:00	1. 事例理解に必要な基礎的知識と実践的(経験的)知識(講義) ① 事例理解に必要な医療、リハビリ、認知症等の基礎的知識 ② 生活支援・介護過程経験で育まれる実践的(経験的知識)
	休憩	12:00~13:00	
3	○作成した個別支援計画の評価、修正	13:00~17:30	2. 生活支援・介護過程を支える個別支援計画の意義(講義) ① 生活支援における課題抽出 ② 介護過程における目的設定 ③ ケアの共有化と介護観

(2日目) 平成31年3月5日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1・2	○個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の習得	9:00~12:00 (途中10分休憩)	3. 個別支援計画作成に関わる指導の視点(講義・演習4時間) ① 事例を活用したICFアセスメントと指導視点
	休憩	12:00~13:00	
3		13:00~17:30	4. 個別支援計画の評価と修正(演習8時間) ① 認知症事例による「観察した内容」と「個別支援計画」の実際(参考となるエピソード: ケースメソッド) ② 個別支援計画の評価と修正



(3日目) 平成31年3月6日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1・2	○個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の習得	9:00~12:00 (途中10分休憩)	5. 個別支援計画に沿った記録様式の作成 (講義・演習6時間) ① エピソード記録の方法と活用 ② SOAP記録の方法と活用
	休憩	12:00~13:00	
3	○記録方法の指導	13:00~17:30	6. 記録方法の指導(習得に必要な関わり) (講義・演習4時間) ① おさえるべき記録の基本原則 ② 個人情報とはなにか ③ 指導における支持的機能の意味